今後の先端計測分析技術・機器開発プログラムの事業推進体制

資料２－４
科学技術・学術審議会 先端研究基盤部会 研究開発プラットフォーム委員会
先端計測分析技術・機器開発小委員会（第３回） 平成23年9月27日

文部科学省　科学技術・学術審議会（先端計測分析技術・機器開発小委員会）

【役割】　我が国における先端計測分析技術・機器開発について全体を俯瞰した議論を行い、我が国全体の研究開発の方向性を提示した上で、プログラムの基本的戦略を立案

- ○ 政府の方針や社会的重要課題への貢献に向けた検討
- ○ 各研究機関、プロジェクトにおける開発状況、国際動向の把握
- ○ 上記を踏まえ、プログラムの基本的なあり方を定めた「基本戦略（仮称）」の策定

審議参画、情報（エビデンス）提供

情報提供依頼

「基本戦略（仮称）」を提示

審議参画、状況報告、
自己検証結果のフィードバック

役割分担
連携

独法事業、基礎研究
個別開発プロジェクト　等

科学技術振興機構（JST）　事業実施部門

【役割】　小委員会の議論を受けて事業を効果的に推進

推進委員会（仮称）　※新設

- ○ 基本戦略に基づく事業計画の策定　○ 公募、採択、評価の一体的実施
- ○ 開発経費の決定　○ 開発フェーズ間の連携　○ プログラムの実施結果の自己検証

開発総括（PO）

- ○ 重点開発領域の推進の統括
- ○ 開発課題の推進、開発課題間の連携

事業実施事務局

- ○ 事業事務運営　○ 成果展開活動
- ○ 連携の場の構築

研究開発戦略センター

- ○ 海外の開発動向、成果展開戦略等の調査
- ○ 国内の動向調査、海外動向との比較分析

連携

連携の場の構築
（WSの開催）

開発テーマの抽出

プレイヤー

- 開発者（シーズ）
- 学術団体(コミュニティ)
- ユーザー（ニーズ）
- 業界団体（企業化主体）

- ○ 4者連携による、開発領域、開発目標の提案
- ○ 将来的な実用化、利用主体を明確化した連携開発